

2015年(平成27年)3月12日 木曜日

被災地支援へカラクリ募金箱

野火止製作所 名古屋三越に納品



東日本大震災からの復興工を手がける野火止製作所を支援する巨大カラクリ募金箱「コロコロ募金箱」が、名古屋三越ラシック（LACHIC）店（名古屋市中区）の入り口ロビーにお目見えした。カラクリ募金箱はレーザー・板金加工が、さまざまな経路をたどりながらアクリル羽根を回転させる様が新鮮と好評」（川上博史野火止製作所常務）だ。

▲……………野火止製作所が名古屋三越ラシックに納めた「コロコロ募金箱」

入れた硬貨が仕掛け動かし

大きさは高さ195センチ（キャスター含む）×幅180センチ×奥行き60センチで、重さは280キロあり、同社がこれまで13台製作した「コロコロ募金箱」の中で最大。設計から板金、アクリル板カット、組み立てまで全て社内でもかかった。「自らの重量などにより、表面に生ずるほんのわずかな凹凸でもコインのスムーズな転がりを妨げる。また1円玉の場合は静電気の影響も受けるため、これらの対策の微調整に苦労した」（同）という。

ラシックは今後1年間、同募金箱による募金活動を実施する。義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地復興支援向けに寄付される。

（川越）